

2026年1月23日

テレプランニングインターナショナル株式会社、2025 - 2026シーズンより 「EASL」のコーポレートパートナーに就任。

当社テレプランニングインターナショナル株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 鈴木慎一郎。以下、TPI）とイーストアジア・スーパーリーグ（以下、EASL）は、昨年12月4日付で戦略的長期パートナーシップ契約を締結したことを発表しました。

当社はスポーツマーケティングを主軸とする広告代理店であり、本年に設立50周年を迎えました。国際的なスポーツコンテンツの魅力を幅広い世代に伝えること、スポーツを通じて国際社会の発展に寄与することを目的とし、ゴルフの4大メジャーの一つ「Masters」を代表例としてこれまで様々なコンテンツを取り扱ってまいりました。当社として記念すべき50周年という節目に、欧米地域では既に確立した地位を築いているバスケットボールの魅力をアジア地域にも更に波及させ、携わる企業様の価値最大化に貢献すべく、2025-2026シーズンより正式にEASLコーポレートパートナーに就任しました。

EASLは、バスケットボールの国際統括団体であるFIBAとの独占的長期パートナーシップのもとで運営され、FIBAアジアから正式に承認されている国際大会であり、今シーズンは日本を含むアジア7つの地域から選抜された総勢12チームが東アジアNo.1の座をかけて戦っています。

国際試合としては珍しく、開催期間が10月から翌年3月までの計6か月間と長期に亘ること、総勢12チームが3グループに分かれて参加国各地域で試合が開催されることが当リーグの特徴で、世界屈指の強豪チームの試合をSNSや放送だけでなく、自国にいても観戦出来るチャンスがあることから、バスケットボールファンを中心に世界的に人気が高まっています。昨今はB.LEAGUEの人気の目覚ましく、EASLの直近2シーズンにおいてもB.LEAGUE出身チームが優勝を飾る快挙を成し遂げており、名実共に世界レベルとなった日本チームに大いに期待が寄せられています。

TPI代表取締役社長、鈴木慎一郎は次のように述べています。

「当社はEASLのスポンサーセールスを開始して今年で2シーズン目となり、これまで他広告代理店様に先駆けてEASLの可能性に着目してまいりました。今年度より正式にコーポレートパートナーとしてEASLに携わることが出来ることを大変光栄に思います。データからみるEASLの社会的認知度および若い世代を中心とした関心の高まりは顕著に推移している一方、アジア圏においてはその魅力およびスポーツマーケティングとしての経済的波及効果の両面から、今後一層の成長が十分に期待できるコンテンツだと信じています。スポーツコンテンツに強みを持つ広告代理店として、これまで培ってきた知見を最大限に活用し、クライアント様にとってスポンサーメリットをご享受頂く好機となるように、コーポレートパートナーという立場からEASLの更なる発展に向けて努力してまいります。」

EASLゼネラル・マネージャーAdam Zechaは次のように述べています。

「TPIとのパートナーシップ契約は、EASLの価値向上に向けた重要な意味を持ちます。TPIが創業50年という歴史の中で培ってきたスポーツマーケティング分野における長年の経験、特に国際的なスポーツコンテンツを興行的な視点から成功に導く戦略的ビジョンと知見は、EASLの商業的な基盤構築に向けた貴重な財産です。アジア地域におけるEASLの長期的な成功に向けて、TPIと正式なパートナーとして関わる事が出来ること、この契約によって生み出される相乗効果に大いに期待を寄せています。」

TPIは、昨シーズンにクライアント様にご協賛頂いた実績を有しております。

スポーツコンテンツの魅力の一つとして、試合会場における露出効果や商品サンプリングをはじめとした、一般的なメディア・広報戦略では扱えない幅広い手法を用いて企業価値を高めることが出来る点も挙げられます。

当社が創業当時から掲げるミッション「世界のスポーツ／エンターテインメントを通じて、常に自由な発想で唯一無二の新しい価値および企業ブランディングを提案する」ことを念頭に置き、EASLコーポレートパートナーとしてステークホルダーの皆様にご貢献できるよう、引き続き尽力してまいります。

【ご参考】

＜EASL公式ホームページ＞

<https://www.easl.basketball/ja>

＜テレプランニングインターナショナル株式会社＞

<https://www.tpi-j.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

テレプランニングインターナショナル株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-2-1 フロントプレイス四谷5F

Tel:03-3261-3000(代表)

コンテンツ & コミュニケーション部

増田(masuda@tpi-j.co.jp)、向井(mukai@tpi-j.co.jp)